学校番号	1016

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習 B	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	LT 現代文２（浜島書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習　四訂版　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・受験対策を意識して、様々な文章に触れ、長文読解能力を身につけよう。
・図表を用いた問題、複数の資料を結びつけて理解・思考を深める問題、「実用文書」の読み取り問題など、さまざまなパターンの問題に取り組もう。
・語彙力を身につけて、実生活に活かそう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の 担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活を充実させるために必要な基礎的な国語の知識や技能について、その特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や表現力を磨き、自らの思いを互いに伝え合う基礎的な力を身につけようとしている。	言葉がもつ価値に気づき、思考力を伸ばし適切な言語感覚を身に付けようとしているとともに、国語を尊重し、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ステップ１ ［教材］ 『 LT 現代文２』 「風景の創造」 「責任を取らない生き方とは？」 「力の認識」 「権謀術策の世界を生き抜く知恵」 「響異の住まいづくり」 「空の青さ」 「分人のすすめ」 ［教材］ 『テスト式国語常識の総演習』 第１回-第５回	ａ： 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 ｂ[話/聞]：自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。 ｃ：今回の学習内容を積極的に社会生活で活用しようとしている。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク
2学期	ステップ２ ［教材］ 『 LT 現代文２』 「全人生をかけて「対話」」する 「花ひらく生命」 「言の葉の頼もしさ」 「「守・破・離」というプロセス」 「スポーツという身体文化」 「魚がはねるように」 「複雑さを増す進化のかたち」 ［教材］ 『テスト式国語常識の総演習』 第６回-第１０回	ａ： 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 ｂ[話/聞]：自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。 ｃ：今回の学習内容を積極的に社会生活で活用しようとしている。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク
3学期	ステップ３ ［教材］ 『 LT 現代文２』 「新しい博物学」 「ことばの遠心性」 「「無意識」の中で伝わりあうもの」 「仏像にかける情熱」 ［教材］「新　国語基礎の演習」 第１１回～第１２回	ａ： 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 ｂ[話/聞]：自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。 ｃ：今回の学習内容を積極的に社会生活で活用しようとしている。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間